

## NEWS RELEASE

2018-07

2018.08.07

～洛西口～桂駅間プロジェクト～

# 「<sup>トート</sup>TauT 阪急洛西口」のロゴおよび第1期エリアの出店店舗が決定

～2018年秋 京都で人気の飲食・食物販店など13店舗が開業します～



洛西口駅東側から見た施設の外観イメージ



洛西口駅（桂駅方面）の東側歩道から見た施設の外観イメージ

阪急電鉄は、京都市とともに開発を進めている阪急京都線・洛西口～桂駅間の高架下エリア「<sup>トート</sup>TauT 阪急洛西口」について、ロゴおよび本年秋に先行開業する第1期エリア（洛西口駅付近）に出店する13店舗を決定しましたので、お知らせします。

「<sup>トート</sup>TauT 阪急洛西口」は、阪急京都線・洛西口駅付近の連続立体交差化事業（鉄道高架化）により生み出された総延長約1km、面積約11,200㎡の高架下空間であり、開発コンセプトである『行きたい 住みたい KYOTO 洛西口 ～ヒトとヒトをつなぐ エキはマチの縁側（えんがわ）～』のもと、行きたい街・住みたい街としての魅力を高め、「訪れたい」「新たに住みたい」「将来にわたって住み続けたい」と思っていただけけるエリアを目指して開発を進めており、2020年の全体開業を予定しています。

今回、奥行きのある高架の下で人と人が出会う様子をイメージしたデザインのロゴとするとともに、本年秋に先行開業する第1期エリアに、洛西口駅の利便性向上につながるサービス業態だけでなく、地元京都で人気の店舗や地元企業による店舗を誘致しました。

また、専用サイト（<https://taut-rakusaiguchi.com/>）もあわせて開設し、今後は同サイトでも情報発信していきます。

ロゴと出店店舗の詳細については、次ページ以降のとおりです。



### 「TauT 阪急洛西口」のロゴについて

2つの「T」は高架柱を表し、「T」の大きさに差をつけることで、手前から奥に高架柱が立ち並ぶ様子をイメージし、その色は、高架を見上げた時の空の色で彩りました。また、筆記体で表した「au」＝「あう」は、高架の下で人と人が出会い、そして繋がる様子を表しています。

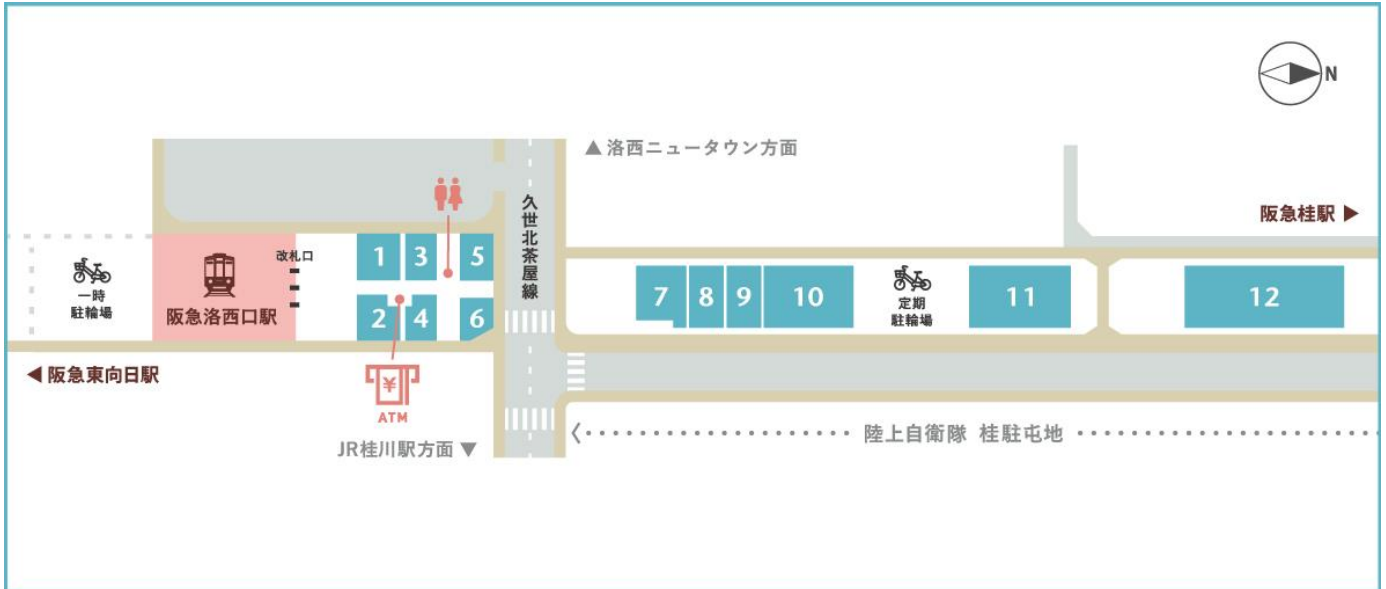


### 第1期エリアの店舗について

本年秋に先行開業を予定している第1期エリアは、「地域の魅力を再発見するエリア」と位置付け、洛西口駅の利便性向上につながるサービス業態だけでなく、地元京都で人気の店舗や地元企業による店舗を誘致しました。これにより、駅を中心に賑わいを創出し、人が集まり交流することで、より良好な地域コミュニティが形成されるとともに、地域の活性化を図っていくことを目指しています。



「<sup>ト</sup>ト<sup>ト</sup>阪急洛西口」開発エリアの位置図



「<sup>トート</sup>TauT阪急洛西口」第1期エリアの区画図

■ 「<sup>トート</sup>TauT阪急洛西口」第1期エリア店舗等一覧

区画	店名	業態	会社名
1	uroco by 西浅	鉄板海鮮丼・寿司	株式会社西浅
2	BAKEHOUSE Mére (ベーカハウス メール)	ベーカリー	株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神
	Latteart Junkies Roastingshop (ラテアート ジャンキーズ ロースティングショップ)	カフェ	
3	おとな食堂京都	おばんざいバル	株式会社リヴ
4	クリーニングぴいぷる	クリーニング	株式会社クリーンピアぴいぷる北
5	すいば	立ち飲み居酒屋	株式会社マリオ
6	銀の卵	たこ焼・お好み焼・焼そば	ドリームアドバンス株式会社
7	巣箱	カフェ	株式会社リヴ
8	ひより	パスタ・チーズケーキ	有限会社凜 style
9	京都 麺屋たけ井	つけ麺・ラーメン	株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神
10	阪急レンタサイクル	レンタサイクル	阪急電鉄株式会社
11	プログラボ	ロボットプログラミング教室	プログラボ教育事業運営委員会
12	サイクルベースあさひ	サイクルショップ	株式会社あさひ
その他	京都中央信用金庫	ATM	京都中央信用金庫

(ご参考) 第1期エリアの計画概要について

- 計画地 京都市西京区川島六ノ坪町59-2他
- 敷地面積 約 2,838 m<sup>2</sup> (高架下全体の敷地面積は約 11,200 m<sup>2</sup>)
- 延床面積 約 1,522 m<sup>2</sup>
- 構造・階数 鉄骨造・地上1階
- 開業予定 2018年秋
- 設計・監理 阪急設計コンサルタント株式会社
- 施工 株式会社中蔵

以上

【ニュースリリース配信先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、京都市政記者クラブ、京都経済記者クラブ